

指導の手引き 4 数①～④

<b>one</b>		<b>1</b>
英語らしい音を出すコツ	日本人の多くが最後の n の音を舌先を離れた状態で発音するが、しっかりと上の歯茎に押しつけて「ワンヌ」と言うぐらいのつもりで、n を長く発音するとコツがつかめる。	
文化的な情報、応用表現など	「本が 1 冊」のような言い方は英語にはなく、one book, two books のように、名詞の前に数詞を置く言い方が普通。慣れる必要がある。	
<b>two</b>		<b>2</b>
英語らしい音を出すコツ	舌先を上歯茎につけて t の音を出す。「ツー」にならないように注意する。	
<b>three</b>		<b>3</b>
英語らしい音を出すコツ	舌先を上下の歯の間に軽く挟み th を発音する。	
<b>four</b>		<b>4</b>
英語らしい音を出すコツ	上の歯を下唇に当てて f を発音する。	
<b>five</b>		<b>5</b>
英語らしい音を出すコツ	上の歯を下唇に当てて f と v を発音する。	
<b>six</b>		<b>6</b>
英語らしい音を出すコツ	「シ」でなく「スイ」になるよう注意。	
<b>seven</b>	最初の se- にアクセント。	<b>7</b>
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。v と n はつなげて。語尾の n は one と同じように、しっかりと。	
<b>eight</b>		<b>8</b>
英語らしい音を出すコツ	語尾の t の発音は carrot の t と同じで、舌先を歯の裏に当てて、そこで止める。	
<b>nine</b>		<b>9</b>
英語らしい音を出すコツ	語尾の ne の発音は one と同じ。上の歯の裏に舌をつけて「ン」のまま伸ばすように発音する。	
<b>ten</b>		<b>10</b>
英語らしい音を出すコツ	語尾の n の発音は one と同じ。上の歯の裏に舌をつけて「ン」のまま伸ばすように練習するとよい。	
<b>eleven</b>	-lev- にアクセント。	<b>11</b>
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。v と n はつなげて。語尾の vn は seven と同じ音。	
文化的な情報、応用表現など	あのコンビニエンスストアチェーンの名前は、vn の音が韻を踏むので語呂が良いことも命名の理由と言われる。	
<b>twelve</b>		<b>12</b>
英語らしい音を出すコツ	真ん中の l は「ウ」に近い音。日本語の「る」のように舌を弾かずに、上の歯の裏に押しつけて発音する。この l と v はつなげて発音する。	
<b>thirteen</b>	teen にアクセント。	<b>13</b>
英語らしい音を出すコツ	最初の th- は舌の先を上下の歯で挟んで発音する。ir は口を広げず両唇の間から出す「ウー」にも「アー」にも聞こえる曖昧な音。語尾の n を、舌先を上歯の裏に押しつけて長めに発音すれば、thirty と混同されない。	
<b>fourteen</b>	teen にアクセント。	<b>14</b>
英語らしい音を出すコツ	最初の f を、下唇に上の歯を当てて出す。語尾の n を、舌先を上歯の裏に押しつけて長めに発音すれば、forty と混同されない。	
<b>fifteen</b>	teen にアクセント。	<b>15</b>
英語らしい音を出すコツ	2 つの f の音を、下唇に上の歯を当てて出すこと。語尾の n を、舌先を上歯の裏に押しつけて長めに発音すれば、fifty と混同されない。	

<b>sixteen</b>	teen にアクセント。	16
英語らしい音を出すコツ	「シ」でなく「スイ」になるよう注意。語尾の n を、舌先を上歯の裏に押しつけて発音すれば、sixty と混同されない。	
<b>seventeen</b>	teen にアクセント。	17
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。v と n はつなげて。語尾の n を、舌先を上歯の裏に押しつけて発音すれば、seventy と混同されない。	
<b>eighteen</b>	teen にアクセント。	18
英語らしい音を出すコツ	語尾の n を、舌先を上歯の裏にしっかりとつけて発音すれば、eighty と混同されない。	
<b>nineteen</b>	teen にアクセント。	19
英語らしい音を出すコツ	語尾の n を、舌先を上歯の裏にしっかりとつけて発音すれば、ninety と混同されない。	
<b>twenty</b>	e にアクセント。	20
英語らしい音を出すコツ	「トエンティ」でなく「トゥエンティ」と発音。語尾の y は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「トゥエニィ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
<b>thirty</b>	ir にアクセント。	30
英語らしい音を出すコツ	最初の th- は舌の先を上歯と下歯の間に挟んで発音する。ir は、thirteen と同様、口を広げず両唇の間から出す「ウー」にも「アー」にも聞こえる曖昧な音。語尾の y は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「サーリィ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
<b>forty</b>	or にアクセント。	40
英語らしい音を出すコツ	最初の f を、下唇に上歯を当てて出す。語尾の y は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「フォーリィ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されない訳ではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
<b>fifty</b>	i にアクセント。	50
英語らしい音を出すコツ	2つの f の音を、下唇に上歯を当てて出すこと。語尾の y は軽く発音する。	
<b>sixty</b>	i にアクセント。	60
英語らしい音を出すコツ	「シ」でなく「スイ」になるよう注意。語尾の y は軽く発音する。	
<b>seventy</b>	最初の se にアクセント。	70
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。v と n はつなげて。語尾の t は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「セヴニィ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
<b>eighty</b>	ei にアクセント。	80
英語らしい音を出すコツ	語尾の t は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「エイリィ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
<b>ninety</b>	i にアクセント。	90
英語らしい音を出すコツ	語尾の t は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「ナイニィ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
<b>hundred</b>	u にアクセント。	100
英語らしい音を出すコツ	u でつづる「ア」の音は、口の中央で軽く発音する。日本語の「あ」に近い音。	
文法的な注意事項	100 は one hundred、200 は two hundred。two がついても hundreds にならない。	
<b>zero</b>	e にアクセント。	0
英語らしい音を出すコツ	「ズィーロウ」または「ズィアロウ」。	